

## 様々な担い手とともに取り組む 協働まちづくりのアイデアを議論

### ～ 第4回 市民まちづくり会議 開催レポート ～

第8次総合計画策定の一環として、令和元年6月にスタートした「市民まちづくり会議」。

第4回会議を8月24日（土）に社会教育センター（市民交流センター内）4階 401 研修室で開催しました。

第3回会議で検討した今後のまちづくりのアイデアの実現にむけて、様々な担い手と協働で取り組むべき事業・活動について話し合いました。以下、当日の様子をご紹介します。

### ■ 第3回で議論した「今後10年で取り組むべき施策・事業」の内容を確認

第2、3回と同じメンバーで4つのグループに分かれ、引き続き同じテーマについて検討を行いました。

冒頭に、第3回に出された「今後10年で取り組むべき施策・事業アイデア」について進行役から説明し、追加意見の有無を含めて振り返りを行いました。そして、これらの「施策・事業アイデア」の中から様々な担い手と協働で取り組むべきアイデアについて、自分事として自由な発想で検討することを確認しました。



### ■ 多様な主体との協働のあり方を、具体的な役割や取組について自由に議論

施策・事業アイデアの中から、個人や家庭、地域、市民団体・NPO、事業所など、行政以外の様々な担い手と協働で取り組むべき事業・活動について、具体的に想定される「担い手」と、その担い手に期待される役割や取組・活動内容について検討を行いました。

「協働」については、調査や企画立案段階への参加、維持管理への協力、イベントの共催や参加、事業委託、寄付、PR協力など、様々な段階や形態があることを説明し、多様な協働のあり方を自由に発想して数多くのアイデアをいただきました。とりわけ、交通や教育、施設運営などの分野では、「民間企業」との公民連携による協働のアイデアも数多く出されました。

出されたアイデアを基本施策ごとに整理した上で、協働で行うことの意義や効果などについても活発な議論が行われました。



### ■ メンバーを入れ替えて、分野を超えた横断的な協働についても検討

各担当分野についてグループに分かれて約90分議論を行った後は、ワールドカフェ形式で異なるグループのメンバーが集まり、横断的な視点から新たな協働の取組について議論しました。

違うテーブルで議論されていた別分野のアイデアを持ち寄り掛け合わせることで、新たな視点のアイデアが生まれたり、既存の取組を活かしたアイデアが提示されるなど、幅広い視点で議論を深めることができました。

最後にグループに戻り、新たに提案されたアイデアを確認するとともに、議論の成果を進行役のスタッフから3分程度で発表。事務局から次回の検討テーマを説明し会議を終了しました。



### 【主な意見（抜粋）】

分野	基本施策	施策・事業アイデア	協働による取組アイデア
都市基盤	市街地・住環境	空き家の有効活用	家を探している子育て世代に、空き家情報をわかりやすく提供、空き家のリノベーションによる価値の創出
	道路・交通	企業バスとの連携	企業バスの一般市民への開放、企業統合バス会社の設立
	公園・緑化	スポーツ振興と地元商業との連携	スポーツチームの試合時に、地元商店の試合会場への出店やイベントなどを実施
教育文化	学校教育	学校と地域の協力	NPOなどのスペシャリストの企画で、家庭・市民と協力して新たな教育の展開
	生涯学習	若者が地域で活動する場づくり	学校、まちづくり団体、自治会の協働で、若者の力がかせる場所を作る。若者の特技をシニア世代に教える
	歴史文化・観光	郷土理解	埋もれている刈谷の魅力や資産を市民から募る
産業環境安全	農業	給食に地産地消	地産地消&地元消費で地域経済の活性化につなげる 安全な食材を給食に提供する
	商工業	技術技能の継承	ハイウェイオアシスでものづくり体験教育施設を整備
	環境保全	フードロス対策	食べ残しを持ち帰れるようにする
	防災	防災訓練	ダンボールでの避難生活を体験、新聞紙でのスリッパづくりを通し、楽しく防災に対する意識付けを行う
福祉協働	子育て	世代間交流	子どもが高齢者のおもてなし体験（教育）実施
	健康	主体的な健康づくり	運動、ボランティア、イベント参加等にポイント付与
	障害児・者福祉	障害者の雇用	農産物を活用した障がい者が働くカフェ（農福連携）
	共存・協働	市政参加・投票率UP	若者会議やママさん会議など、自分事として市政に参加する風土作り

